



ぽっかぽか うさぎ組 10月

先日まではまだまだ暑く、外遊びの後は汗をかいてシャワーをしていましたが、少しずつ涼しくなって朝晩の涼しい風や、夕方の秋の虫の音などで、秋を感じるようになってきました。これからはスポーツの秋、読書の秋、食欲の秋と何をするにも過ごしやすい楽しみの多い季節になりますね！昼夜の寒暖の差が大きい季節でもありますので、健康面では気を付けていきたいと思います。



♪ 友だちとの関わりが増えました ♪

今のうさぎ組の子どもたちは、はじめの頃と比べると友達同士の関わりが増え、更に活発になってきました。積み木コーナーやままごとコーナーなどで、「かして」「い〜れ〜て〜」「一緒にやろう」と友だちへ声をかける姿が見られるようになり、友だちに関心を持ち、関わりたい気持ちが育ってきているように感じます。友達との関わりが増える中で、「ウチの子、友だちと関わって遊んでいるのかな？」「友達と仲良く遊んでいるのかな？」と心配になる方もいらっしゃると思います。

今のうさぎ組の子ども達の発達段階として一見、友だち同士で仲良く遊んでいるように見えて、よく見ると一人ひとりじっくりと遊んでいるということもあります。これは決しておかしなことではなく、これを「並行遊び」と言います。友だちには興味がありつつ、まだまだ一人でじっくり遊ぶことが楽しい時期でもあるのです。ですから「今日は誰と遊んだのかな？」「一人で遊んでいたのかな」とご心配なさらなくても「今はまだじっくりと遊びたいんだな」と考えていただければと思います。もちろん、ご心配なことがありましたらいつでも担任までお気軽にお尋ねくださいね！

また、言葉で友だちとコミュニケーションをとるようになってきました。しかし、言葉で「かして」と言っても「やだ」と言われたり「いれて」と言っても「だめだよ」と言われたりと、自分の気持ちを伝えてもうまくいかないこともあったり、自分が使っているものを一人で使いたい、じっくりと遊びたいという時期でもあります。

自分の気持ちと友だちの気持ちがぶつかったときに、言葉で伝えようとする力がついてきている一方、相手に伝わらないとわかると、強い口調や、手を出すことで伝えようとする場合があります。その時には、大人が気持ちを代弁し、受け止めることで子どもは安心します。それぞれの言い分や気持ちを聞いて、共感しながら言葉で伝えられるようにしています。例えば、ものの貸し借りの場面では、やりたい子には「かして」という言葉を、使っている子には「まだ使ってるよ」「待っててね」など、どのように言葉で伝えたら伝わるのかを知らせています。できたり言えたりした時には「言葉で伝えられたね！」「すごい！かしてって言えたね！」などたくさん褒めています！！するとニッコリ、子どもたちもうれしそうにします(*'▽')

その時の状況や、自分や相手の気持ちなどを子供たちに丁寧に伝えながら、自分の意思を言葉でも伝えられたという沢山の成功体験をすることや、友だちとの関わりの中でルールを知り、更に遊びが楽しめるよう見守りながら関わっていききたいと思います。

